

令和5年度 大野町立北小学校通信



輝くひとみ

2学期末号

心を磨く

12月の大掃除週間のときです。ちょうど掃除の時間中に来校者がありました。来校された方は、校長室で話をしている最中に言葉を止めて、「あれ、子どもたちはもう下校したのですか。」と尋ねられました。「いえ、まだ活動中です。今は、掃除の時間です。」と答えると廊下をのぞき込み、「人がいないかと思うくらい静かですね。すごいな。」と褒めていただきました。もくもく掃除は、「私語ゼロ掃除」が定着しつつありますが、それにも増して懸命に床を掃いたり磨いたりする子どもたちの姿に心打たれる毎日です。



北小には、アイくんの3行動「しんけん授業」「先どりあいさつ」「もくもく掃除」があります。1学期は、どの取組も花丸をたくさんもらうため、先生に褒めてもらうためでした。しかし、アイくんの3行動を北小の伝統として定着させたいと願う児童会を中心に6年生が頑張る姿を示し、それを5年生が受けて一緒に手本の姿を示してくれました。今では、下学年にも波及しつつあります。

子どもたちが何か学ぶとき、まずは型から入ることがあります。それを、先生や家の方、園の先生、地域の方々から褒めてもらい自信となります。その自信が原動力となり継続することができます。そして、継続することで、その行為・行動をするときの心地よさを感じるようになっていくのです。

いよいよ明日から冬休みに入ります。学校では、「命の大切さ」「年末年始の気持ちのよいあいさつ」「家族の一員として働くこと」について話をしました。短い冬休みですが、年末の大掃除を一緒にやる、地域・家庭・園で年末年始の行事を楽しむなど、ゆったり過ごしていただけたらと思います。

最後になりますが、家庭・園、地域の皆様のご理解・ご協力により2学期を無事に終えることができました。本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。まだまだ、インフルエンザ等が猛威を振るっています。どうぞ、健康に留意され良き年をお迎えください。